

遺伝子情報を基にしたがんリスク予測による健康寿命の延伸 (生活習慣および遺伝子情報を基にしたがん層別化システムの構築と有用性検証)

1. ヒトゲノム・遺伝子解析研究について

九州大学病院では、病気に関係する遺伝子や薬の効き目に関係する遺伝子を見つけ出したり、遺伝子技術を取り入れた病気の検診のための技術開発を行ったりしています。このような診断や治療の改善の試みを一般に「ヒトゲノム・遺伝子解析研究」といいます。その一つとして、九州大学病院別府病院外科では、現在 60 歳以上の高齢者を対象として、がん感受性遺伝子に関する「ヒトゲノム・遺伝子解析研究」を行っています。

今回の研究の実施にあたっては、九州大学医系地区部局ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会の審査を経て、研究機関の長より許可を受けています。この研究が許可されている期間は、平成 35 年 3 月 31 日までです。

2. 研究の目的や意義について

本研究では、あなたが元々持っている遺伝子の型（多型）の違いを、唾液採取という体に負担のない方法で検査し、得られた遺伝子情報と過去の研究データを統計的に比較することにより、あなたの体質を調べることを目指しています。遺伝子情報とがん発症リスクの関係は人種や住環境などによって様々な違いが見られます。この方法によりがんの発症リスク、などがわかります。この遺伝子の型の違いを事前に調べ、実際のがんが発症したかをフォローアップして調べることで、今後のがんの予防に貢献できると考えています。より多くの方のご協力を得ることでデータが蓄積され、今後の別府市の健康推進事業へ役立つことが期待されます。

3. 研究の対象者について

この研究の対象は、60 歳以上の方で、300 名を対象とさせていただく予定です。

4. 研究の方法について

この研究への参加に同意いただきましたら、ご自身で唾液 2 mL を専用の回収容器へ採取して頂きます。

研究に先立ち、個人情報情報の漏洩を防ぐため、あなたの個人情報を抜き取り別に管理します（匿名化といいます。）

提供していただいた唾液は匿名化の後に、Genomedia 株式会社へ郵送にて送付し、遺伝子

解析が行われます。

解析結果はセキュリティで守られたストレージ上に保存されます。また、解析結果についてより詳しく知りたい方やご相談になりたい方は担当の医師または遺伝子カウンセラーにお問い合わせください。

〔取得する情報〕

臨床情報：生年月日、年齢、性別、既往歴

がん検診に関連する項目：受診歴、受診項目、受診意欲、喫煙歴、飲酒歴

核酸情報：遺伝子変異、一塩基多型

5. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

6. 研究の実施体制について

この研究は以下の体制で実施します。

研究実施場所 (分野名等)	九州大学病院別府病院外科
研究責任者	九州大学病院別府病院外科・教授 三森 功士
研究分担者	九州大学病院別府病院 外科・助教・大津 甫

共同研究施設	施設名 / 研究責任者の職名・氏名	役割
	Genomedia 株式会社・代表取締役・山田 智之	遺伝子解析、 試料及び情報の 収集・保管、 その他解析

7. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、事務局までご連絡ください。

事務局
(相談窓口) 担当者：九州大学病院別府病院外科 助教 大津 甫
連絡先：〔TEL〕 0977-27-1650 (内線 1650)
〔FAX〕 0977-27-1651
メールアドレス：ootsu@surg2.med.kyushu-u.ac.jp